

1. 地図太郎の概要

1. 1 動作環境

OS : Windows 7／ Vista／ XP
メモリ : Windows XP は 512MB 以上
Windows 7／Vista は 2G 以上

1. 8 制限事項の 4. のデータとメモリ量の関係を参照してください。

画面解像度 : 1024×768 以上

ネットワークカード : 必須

※地図太郎の Mac 版はありません。Windows 仮想化ソフト、ブートキャンプ上での動作保証はありません。

1. 2 インストールとアンインストール

購入された「地図太郎」／「地図太郎 PLUS」フォルダの中には下記のファイルが入っています。

インストールについて. pdf →まず最初に開いて読んでください。

- ・ChizuTaro.exe／ChizuTaroPlus.exe・chizuTaroPlus64.exe（本体ソフト CD-R 版）
- ・chizudoc（ヘルプの簡易マニュアルのフォルダ）
- ・基本操作とメニュー構成. pdf
- ・地図太郎ユーザーズガイド. pdf（CD 版のみ）
- ・ダウンロード版を購入された方は、東京カートグラフィック(株)の Web サイトで閲覧やダウンロードすることもできます。

※ダウンロード版を購入された場合は、「ChizuTaro661.lzh」／「ChizuTaroPlus30032.lzh」／「ChizuTaroPlus30064.lzh」という名前の圧縮ファイルを解凍する必要があります。LHA など圧縮・解凍用フリーソフトをインターネット等で入手し、解凍して下さい。

注意事項

- ライセンスを複数のパソコンにインストールすることはできません。
地図太郎・地図太郎 PLUS は 1 台のパソコンにインストールすると、そのパソコン専用の地図太郎・地図太郎 PLUS となります。コピー・移動はできませんので、必ず実際に使用するパソコンにインストールして下さい。
インストール後は、他のパソコンへのライセンスの移管はできません。PC の破損、買い替え、リースアップ等によるライセンスの移動もできません。
- インターネットに接続できるパソコンでのみインストール可能です。
（パスワード取得の際、ネット環境（ネットワークカード等）が必須です。）
- インストール時には外付けの無線 LAN、本体に組み込まれていない有線 LAN、外付けの WAN 機器（携帯通信会社のカード）は外して下さい。
- インターネット接続が外付けの無線 LAN、外付けの WAN 機器等でしかできないかたは[インストールの方法 2]でインストール・認証をしてください。
- インターネット接続を禁止されたパソコンの場合[インストールの方法 3]に従ってください。

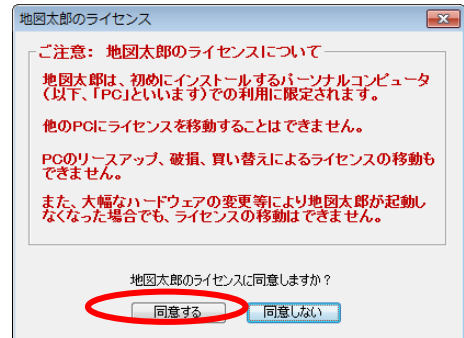
■[インストールの方法 1] (通常)

インストーラを使用したセットアップと比べて、とても簡単です。

①地図太郎は「**地図太郎**」／「**地図太郎PLUS**」のフォルダごとパソコン上に直接コピーするだけでそのまま直ぐにお使いになれます。デスクトップやマイドキュメント等、どこでもかまいません。また地図太郎の背景地図や作成したデータ等は、すべてこの「**地図太郎**」／「**地図太郎PLUS**」フォルダの中に入れておくと、後で整理しやすく便利です。

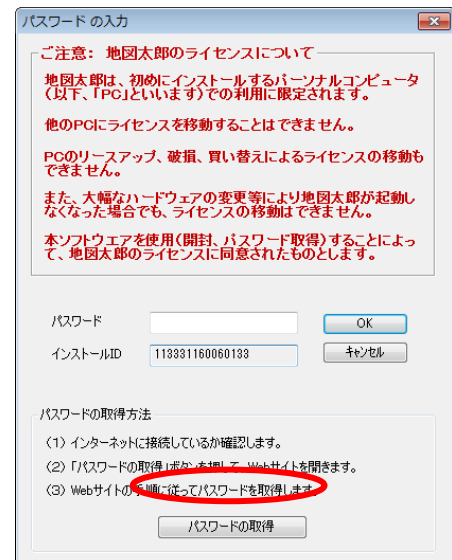
②ChizuTaro.exe／ChizuTaroPlus.exe (本体ソフト) をダブルクリックして起動すると「地図太郎のライセンス」ダイアログが表示されます。ライセンスに「同意する」を押します。

同意されない場合、地図太郎はご利用になれません。

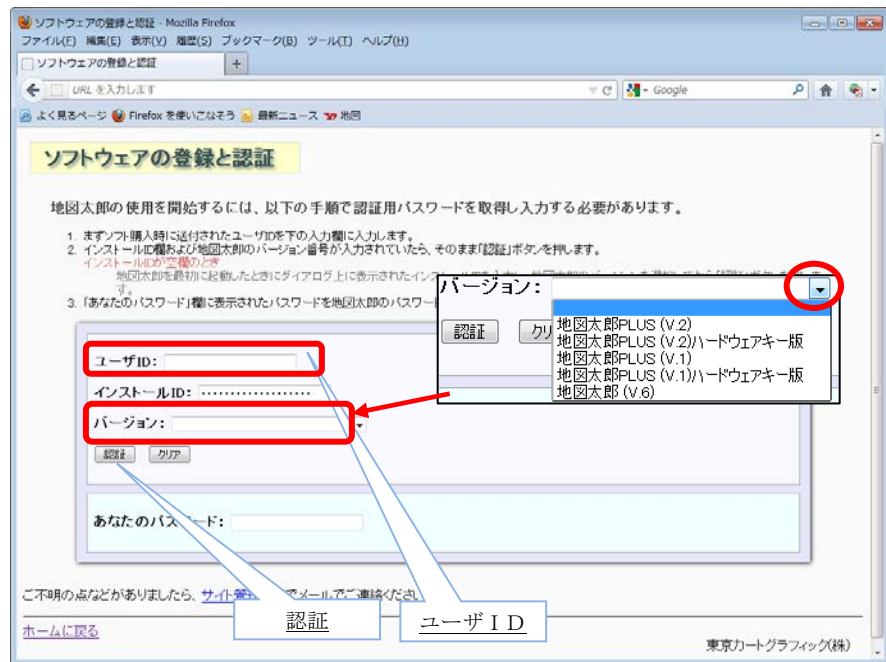


③パスワードの入力画面が表示されます。

インターネットに接続していることを確認して「**パスワードの取得**」ボタンをクリックして「ソフトウェアの登録と認証」サイトを開きます。

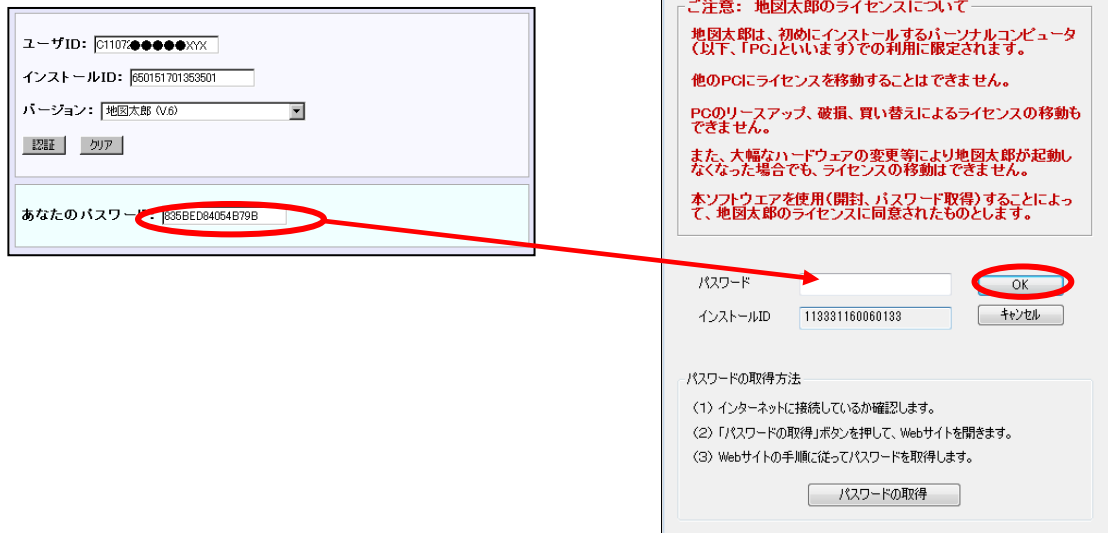


④画面に従い、「ユーザID」(CD版の場合はケースに、ダウンロード版の場合はメールで送付)を入力し、「地図太郎のバージョン」を選んでから「認証」をクリックします。



※インストールIDは通常自動的に入力されます。

⑤「あなたのパスワード」欄に表示されたパスワードを上記③のダイアログのパスワード欄に入力し「OK」ボタンをクリックします。



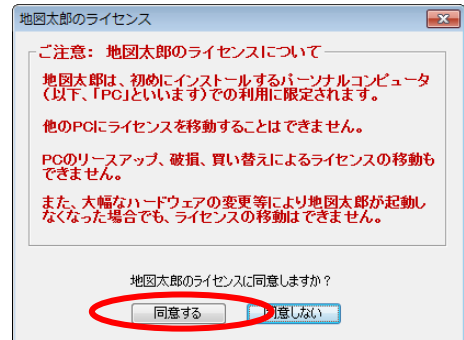
※ 「パスワード」は[Ctrl]+C でコピーし[Ctrl]+V で貼り付けすると便利です。

■【インストールの方法 2】

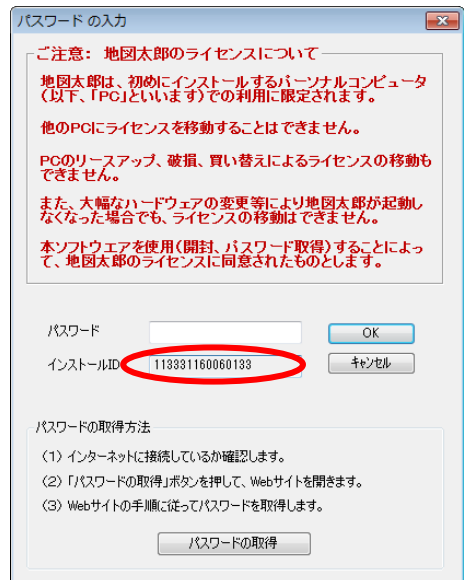
(外付けの無線 LAN、外付けの WAN のみ使用の場合)

① 外付けの無線 LAN、外付けの WAN 機器等を接続しない状態でパソコンを起動します。

② **ChizuTaro.exe**／**ChizuTaroPlus.exe** (本体ソフト) をダブルクリックして起動すると「地図太郎のライセンス」ダイアログが表示されます。ライセンスに「同意する」を押します。
同意されない場合、地図太郎はご利用になれません。

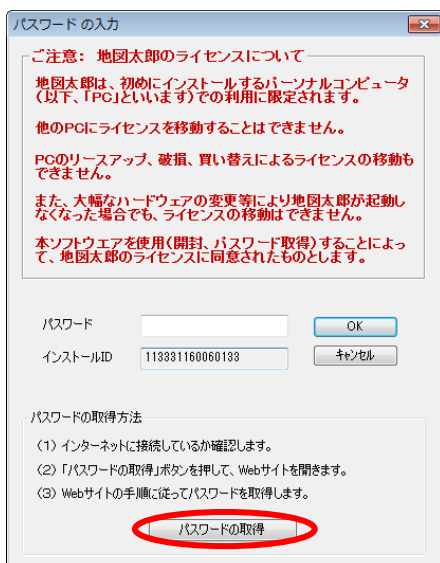


③ 「パスワードの入力」ダイアログの「インストール ID」を控えておきます。コピー・貼り付けでテキストファイルにして保存してください。



④ 取り外した外付けの無線 LAN、外付けの WAN 機器を接続してインターネットが利用できるようにします。

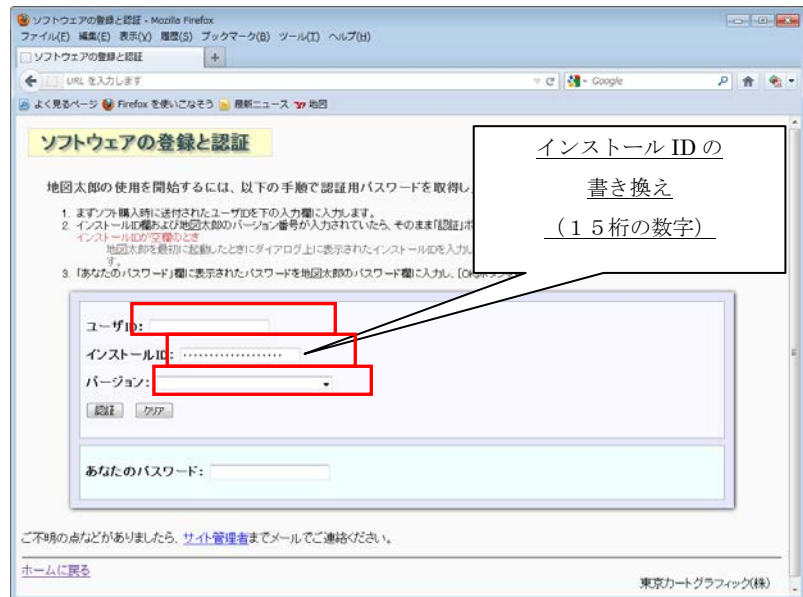
⑤ 「パスワードの取得」ボタンをクリックして「ソフトウェアの登録と認証」サイトを開きます。



⑥「インストールID」の値を①で控えた数字に書き換えます。

画面に従い、前記「インストールの方法1」と同様に「ユーザID」（CD版の場合はケースに、ダウンロード版の場合はメールで送付）を入力し、「地図太郎のバージョン」を選んでから「認証」をクリックします。

※ 「インストールID」は[Ctrl]+Cでコピーし[Ctrl]+Vで貼り付けすると便利です。



⑦「あなたのパスワード」を控えておきます。「ソフトウェアの登録と認証」サイトを閉じます。地図太郎を終了します。

⑧外付けの無線LAN、外付けのWAN機器等を接続しない状態で地図太郎を起動します。

⑦で控えた「あなたのパスワード」をパスワード欄に入力します。

※ 「あなたのパスワード」は[Ctrl]+Cでコピーし[Ctrl]+Vで貼り付けすると便利です。

■【インストールの方法3】

（インターネット接続を禁止されたパソコン使用の場合）

地図太郎を起動して「パスワードの入力」ダイアログの「インストールID」を控えておきます。コピー・貼り付けでテキストファイルにして保存してください。

①で取得した「インストールID」を弊社サポートまでご連絡ください。

対応いたします。詳しくは弊社サポートまでメールでお問い合わせください。

■【アンインストール】

ChizuTaro.exe(本体ソフト)とフォルダ chizudoc(ヘルプの簡易マニュアルのフォルダ)を削除してください。デスクトップにショートカットを作った場合、それも削除してください。

尚、アンインストールしても他のパソコンにライセンスの移動はできません。

1. 3 地図太郎でできること

1) 背景地図として数値地図、航空写真やお好みの地図を読み込む

背景地図データとして国土地理院の「電子国土基本図」「基盤地図情報（2500、25000、数値標高モデル）」「ウォッチャーズ」「数値地図2500・25000(空間データ基盤)」、日本地図センターの25000段彩・陰影画像、航空・衛星写真や自分でスキャンした地図の画像を読み込みます。位置座標を持たない航空写真や地図も画像位置合せ機能（移動・変形、拡大・縮小、回転機能）により、簡単に位置合せをして利用することができます。

2) ユーザデータとして、点、線、面の図形情報とその関連情報（写真・動画・テキスト・ファイル）を作成

読み込んだ背景地図の上に、ユーザデータとして点・線・面の3種の図形データが作成できます。位置情報は経緯度（世界測地系）として保存され、それらの関連情報も属性データとして作成編集できます。デジカメで撮影した写真や動画、関連するホームページアドレス、各種ファイルなども関連データとして結び付けて利用することができます。地図上で距離や面積を計測することも簡単にできます。

3) 表示・検索機能（範囲、ワード、カレンダー検索）を利用して図形や関連情報をリスト表示

中心からの半径を指定する中心からの距離検索、ユーザーID・タイトル・キーワード等を指定するワード検索、日付を指定するカレンダー検索により、情報を検索することができます。また属性情報をリストやカード形式で表示し、リスト上の情報を選択すると地図上の位置や関連情報を確認することができます。背景地図やユーザレイヤの表示切り替え、表示項目の設定、地図画像の濃淡の設定を任意にできます。また透過度の設定もできるので、2枚の地図を重ねて変化部の比較等を行うことができます。

4) 取り込んだデータをもとにグラフを表示

表計算ソフトExcel等のデータ(CSV形式)を読み込み(結合)、地図上の位置データと関連付けて、リスト表示や簡易なグラフ表示(円、正方形、棒グラフ)、色分け表示(クラス、種別)を行うことができます。入力した関連情報(属性データ)についても同様です。

5) 画面イメージをそのままファイル保存、または印刷出力

表示されている画面をイメージファイルとして保存したり、印刷することができます。教育現場やワークショップの資料として活用することができます。また電子メール等に添付して情報交換に利用することもできます。

6) 背景地図とユーザデータおよび、その関連情報をすべてワークファイルとして保存

読み込んだ背景地図と作成されたユーザデータ等は、一括してワークファイルとして保存され、次回にこのワークファイルを呼び出せば、最後に表示された画面の状態を再現できます。

7) Shapeファイルを使用して、他のGISソフトで利用

Shape ファイル形式のデータの読み込みや書き出しが可能で、他のGISソフトとのデータのやり取りができます。（書き出した dbf ファイルは地図太郎独自属性項目となります。）入力ツールとしても最適です。また、Google Earth でも使われている KML ファイルの読み込みや書き出し、位置情報付き JPEG ファイルの編集・保存、GPX (GPS のデータ交換形式) の軌跡データを線データや点データとして読み込むことが可能です。

1. 4 「地図太郎」と「地図太郎 PLUS」の違い

「地図太郎」と「地図太郎 PLUS」の機能の主な違いです。

地図太郎PLUS／地図太郎 機能比較					2012.7.23 現在		
	主な機能	地図太郎PLUS	地図太郎	主な機能	地図太郎PLUS	地図太郎	
1	背景地図の読み込み	●	●	36	エリア選択	●	—
2	航空写真や地図画像の位置合せ	●	●	37	リンクメニューの作成	●	—
3	点・線・面データの作成・編集	●	●	38	距離・面積ウィンドウの引き出し線	●	—
4	表示項目の設定と詳細設定	●	●	39	スケールバーの作成	●	—
5	属性情報のリスト表示/カード表示	●	●	40	線の延長・トリム	●	—
6	属性情報リストの並べ替えと項目の非表示	●	●	41	面の2分割	●	—
7	範囲・ワード・カレンダー検索	●	●	42	面の中抜き・リージョン化	●	—
8	選択/検索した図形の距離や面積を集計	●	●	43	等距離円の作成	●	—
9	レイヤ間のコピーと貼り付け	●	●	44	複数範囲による同時範囲検索	●	—
10	選択/検索したデータを新規レイヤにコピー	●	●	45	背景地図に DM データの読み込み	●	—
11	CSVデータとの結合	●	●	46	背景地図に AutoCAD DXF ファイル (平面直角座標系) の読み込み	●	—
12	結合CSVデータのリスト表示/カード表示	●	●	47	編集レイヤに「CSV ファイル(経緯度座標系)」度分秒形式の読み込み	●	—
13	結合CSVデータリストの並べ替えと項目の非表示	●	●	48	凡例をテキストファイルに保存、読み込み	●	—
14	結合CSVデータの編集	●	●	49	段彩設定をテキストファイルに保存、読み込み	●	—
15	結合CSVデータを属性情報へ転記	●	●	50	情報ウィンドウを全て開く	●	—
16	グラフ・色分け表示	●	●	51	ケータイ de 情報収集	●	—
17	画像 (画面イメージ) を保存	●	●	52	電子国土の地図・空中写真を開く	●	—
18	他形式データをユーザレイヤに読み込み	●	●	53	1/50 万地図画像を開く	●	—
19	ユーザレイヤを他形式データで書き出し	●	●	54	直接リンクファイルを開く	●	—
20	位置情報付写真 (Exif ファイル) の読み込み/書き出し	●	●	55	注記レイヤの作成	●	—
21	アドレスマッチング【Webサイトの活用】	●	●	56	レイヤのグループ化	●	—
22	距離・面積を測る	●	●	57	印刷イメージ画像作成	●	—
23	タイトル・凡例・方位記号の作成	●	●	58	図形・注記の回転	●	—
24	情報ウィンドウの引き出し線	●	●	59	数値検索	●	—
25	初期画面の表示設定	●	●	60	OpenStreetMap の背景表示	●	—
26	標準地域メッシュの表示設定	●	●	61	Exif の撮影方向から矢印記号作成	●	—
27	経緯線の表示設定	●	●	62	地形断面図の表示	●	—
28	印刷 (画面解像度)	●	●	63	面の境界線の表示設定	●	—
29	印刷 (高品質)	●	—	64	よく使う記号をまとめて登録 (マイページ)	●	—
30	印刷 (縮尺指定)	●	—	65	【色分け (種別)】で 2 つの項目をキーにして色分け	●	—
31	日本測地系・世界測地系の相互変換	●	—				
32	GPSナビゲーション	●	—				
33	GPXファイルの読み込み	●	△トラックデータのみ				
34	GPXファイルへの書き出し	●	—				
35	表示画面の縮尺指定	●	—				

1. 5 操作のポイント

「地図太郎」は、まずインターネットで地図データを入手したり、紙地図をスキャンして背景地図を自分で準備することから始まります。パソコンに慣れていない人には少し難しく感じるかもしれませんが、これを理解するとあとは簡単です。

「地図太郎 PLUS」では電子国土基本図を利用すると背景地図として地形図や航空写真の読み込みが自動的に行われます。

地図太郎に限らず、**フォルダの作成や管理を理解**しておくことはパソコンを使う上で最も大切なことです。自分のダウンロードした背景地図や作成したデータを整理して、どのフォルダに保存しておくのか考えながら作業を行ってください。

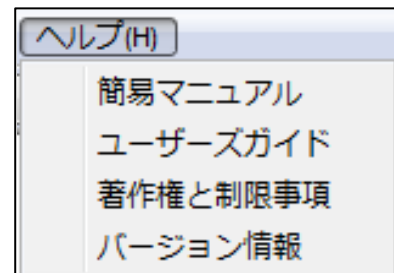
※インターネット上に公開されている地図データをダウンロードするには、メニューバーの【Web サイト】から関連するホームページにリンクすることができます。

(ホームページのアドレスは変更あるいは中止される場合がありますので注意してください。)

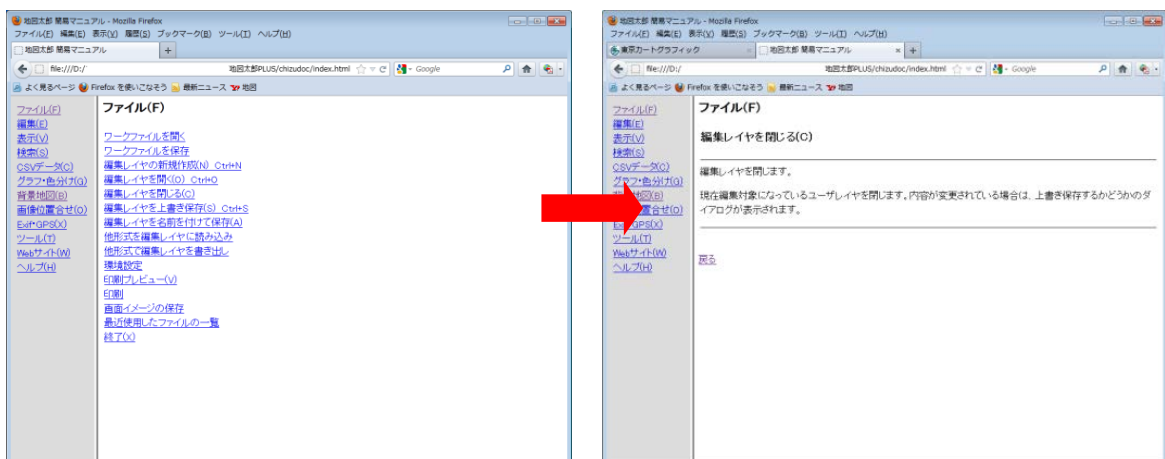
操作方法は、【簡易マニュアル】【ユーザーズガイド】参照してください。

【簡易マニュアル】

①メニューバーから【ヘルプ】→【簡易マニュアル】を選択します。



②HTML 形式の簡易マニュアルです。この簡易マニュアルを見るには Web ブラウザが必要です。



【ユーザーズガイド】

※操作の詳細についてもっと知りたい方は、このユーザーガイドをご確認下さい。

①メニューバーから【ヘルプ】→【ユーザーズガイド】を選択します。

②東京カートグラフィックのホームページのユーザーズガイドが表示されます。このユーザーズガイドを見るにはインターネットに接続されている必要があります。

全ページと目次別がありますので、回線のスピードにより選択してください。

※このユーザーズガイドをご覧になるためには Adobe Reader が必要となります。お持ちでない方は無料でダウンロード出来ます。

※はじめて地図太郎・地図太郎 PLUS をご利用の方は、1 冊印刷されることをしお勧めします。一読していただき、おおむねどのようなソフトウェアであるか、ご理解ください。



ユーザーズガイド | ダウンロード | 地図太郎 | 製品・サービス | 東京カートグラフィック - Mozilla Firefox

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(Ω) ツール(T) ヘルプ(H)

www.tcgmap.jp/product/chizutaro/download/usersguide.html

よく見るページ Firefox を使いこなそう 最新ニュース 地図

東京カートグラフィック株式会社
TOKYO CARTOGRAPHIC CO., LTD.

ホーム 製品・サービス 実績 会社案内 リクルート CSR

地図太郎

ホーム > 製品・サービス > 地図太郎 > ダウンロード > ユーザーズガイド

ユーザーズガイド

コンパクトGIS「地図太郎」・「地図太郎PLUS」

ユーザーズガイド (PDF: 13.7 MB) 資料をダウンロード

※「地図太郎」と「地図太郎PLUS」のユーザーズガイドを統合されています。
(※右クリックし、メニューから「対象をファイルに保存」を選択してください。)
(※PDFファイルはAdobe Reader6.X以上でご覧いただけます。)

項目別のダウンロード

- ・地図太郎の概要 (PDF: 284 KB)
- ・基本的な操作とメニュー構成 (PDF: 950 KB)
- ・インストールとパスワードの取得方法 (PDF: 69 KB)
- ・手順 1-1 背景地図や各種データを用意する (PDF: 390 KB)
- ・手順 1-2 背景地図を開く、開ける (PDF: 1.03 MB)
- ・手順 1-3 航空写真や地図画像の位置を合わせる (PDF: 418 KB)
- ・手順 2-1 地図上に図形、写真やコメントを登録する (PDF: 248 KB)
- ・手順 2-2 登録した情報を編集する (PDF: 1.27 MB)
- ・手順 3-1 登録した情報を見る (PDF: 1.19 MB)
- ・手順 3-2 登録した情報を検索、選択する (PDF: 1.21 MB)
- ・手順 4 - Excelデータを活用する (PDF: 788 KB)
- ・手順 5 - 印刷する、画像を保存する (PDF: 302 KB)
- ・手順 6-1 保存する、開く、開ける (PDF: 224 KB)
- ・手順 6-2 他のGISとの相互利用 (PDF: 983 KB)

【主な内容】

1. Shapefile形式データをユーザレイヤに読み込み
2. KMLファイルでユーザレイヤに読み込み
3. GPXファイルでユーザレイヤに読み込み
4. CSVファイル(経緯度座標付)一点データへの読み込み
5. CSVファイル(経緯度座標付)一線データへの読み込み

1. 地図太郎の概要

1. 1 動作環境

OS : XP/Vista/Windows7
メモリ : XP は 512MB 以上 (地図太郎動作)、
Vista/Windows7 は 2G 以上
1. 8 制限事項の4.のデータとメモリ量の関係を参照してください。
画面解像度: 1024×768 以上
ネットワークカード: 必須

1. 2 インストールとアンインストール

購入された「地図太郎」／「地図太郎 PLUS」フォルダの中には下記のファイルが入っています。

インストールについて、一まず最初に開いて読んでください。

- ・ChizuTaro.exe / ChizuTaroPlus.exe / ChizuTaroPlus64.exe (本体ソフト CD-R 版)
- ・chizudoc (ヘルプの簡易マニュアルのフォルダ)
- ・基本操作とメニュー構成.pdf
- ・地図太郎ユーザーズガイド.pdf (CD 版のみ)
- ・ダウンロード版を購入された方は、東京カートグラフィック社の Web サイトで閲覧やダウンロードすることもできます。

※ダウンロード版を購入された場合は、「ChizuTaro650.lzh」／「ChizuTaroPlus20032.lzh」／「ChizuTaroPlus20064.lzh」という名前の圧縮ファイルを解凍する必要があります。LHA など圧縮・解凍用フリーソフトをインターネット等で入手し、解凍して下さい。

注意事項

- ライセンスを複数のパソコンにインストールすることはできません。
- 地図太郎・地図太郎 PLUS は 1 台のパソコンにインストールすると、そのパソコン専用の地図太郎・地図太郎 PLUS となります。コピー・移動はできませんので、必ず実際に使用するパソコンにインストールして下さい。
- インストール後は、他のパソコンへのライセンスの移管はできません。PC の破

1. 6 著作権及び利用規約

1. 本ソフトウェアは、東京カートグラフィック株式会社が開発したものです。
2. 本ソフトウェアのライセンスは、購入された本数に等しい台数、定められた仕様、定められたコンピュータ以外での使用を禁じます。
3. 本ソフトウェアを、私的な目的以外に使用したり、第三者の商標権、著作権、その他一切の権利を侵害したりしないものとします。
4. 本ソフトウェア及び関連資料、画像、データ等の複製、改変、転売、譲渡、貸与、第三者への再使用権は許諾できません。
5. 本ソフトウェアの全部もしくは一部に対し、リバースエンジニアリング（逆コンパイル、または逆アセンブル）を行ってはなりません。
6. 本ソフトウェアによるご利用者の直接または間接的障害、損傷に関して、東京カートグラフィック株式会社は一切責任を負わないものとします。
7. ダウンロードして使用する各データの著作権については、各々の利用規定や約款をご確認の上、使用してください。東京カートグラフィック株式会社は一切責任を負わないものとします。
8. 本ソフトウェアの仕様は、改良の目的にて予告なしに変更する場合があります。

1. 7 ライセンス（必ずお読み下さい）

平成 23 年 8 月 5 日改定しました。

●通常版（シングルユース）

初めにインストールする PC 1 台のみ使用できます。

他の PC にライセンスを移動することはできません。

（PC の破損、買い替え、リースアップ等によるライセンスの移動もできません）

対象製品：地図太郎（CD 版、ダウンロード版）、地図太郎 PLUS（CD 版、ダウンロード版）

●ハードウェアキー版

複数のユーザ ID が交付されます。ユーザ ID の交付数までの PC で使用できます。（但し同時に使用できるのはハードウェアキーを挿している 1 台のみです）設定後、他の PC にライセンスを移動することはできません。

（PC の破損、買い替え、リースアップ等によるライセンスの移動もできません）

例えば「会社と自宅で使いたい」「予備に用意しておきたい」「パソコン買い替にも備えたい」等をお考えの方に適しています。

対象製品：地図太郎 PLUS（ハードウェアキー版）

平成 24 年 4 月 2 日追加しました。

●「地図太郎 PLUS」アカデミックパッケージ

ライセンスを別に決めました。教育機関の方はお問い合わせください。

1. 8 制限事項（必ずお読み下さい）

1. データの座標形式

本ソフトウェアは、投影されていない地理座標（度単位の緯度経度）データを基本にしています。

投影された座標値をもつ数値地図 2500(空間データ基盤)や平面直角座標の Shape ファイル形式のデータについては、読み込み時に平面直角座標から緯度経度に自動変換しています。

2. データの座標参照系（測地系）

本ソフトウェアは、世界測地系（日本測地系 2000）をもとにした座標を想定しています。

3. CD のデータの問題

位置合せをする画像が CD-ROM にあるときには【**画像位置合せ**】による簡易標定の結果を保存することは出来ませんので、ローカルディスクに移してお使い下さい。

4. データとメモリの関係

本ソフトウェアはメモリに全てのデータを取り込んで処理します。できるだけ大量のメモリーを搭載することをお勧めします。

PC の搭載メモリの量が少ない場合は、必要最小限のデータを読み込むようにする必要があります。一度に大量のデータを読み込むことは避けてください。

使用するパーソナルコンピュータで処理できる読み込み量を試しながらお使いください。 必要に応じデータを分けて読み込み、不要なデータは読み込まないようにしてください。

例 基盤地図情報(25000) 1 県分程度を地図太郎バイナリ形式で保存したものを、背景として利用する場合、2G 程度のメモリが必要です。

5. 地図太郎、地図太郎 PLUS での面積・距離

距離は経緯度の差 3 度以内で北緯 80 度から南緯 80 度は UTM 座標変換して算出します。それ以外は角距離で算出しています。

面積は求める図形の外接四角形が経緯度の差 6 度以内で存在し、北緯 80 度から南緯 80 度は UTM 座標変換して算出します。精度は上記の算出方法による精度となります。おおよその数値と認識してください。

6. 平面直角座標系データ読み込み時の精度

平面直角座標系のデータを読み込ませたとき経緯度に自動的に変換されますが、.gen ファイルに保存するときの保存桁数（少数点以下 8 桁 例 35.69607000）の関係から精度が落ちる場合があります。

7. シンクライアント型での利用

地図太郎・地図太郎 PLUS の CD-R 版、ダウンロード版、ハードウェアキー版は、シンクライアント型のパソコンでは利用できない場合があります。

詳しくは、お問い合わせください。